



特集 でくいひと 永井 学

山梨県議会議員 / 夢甲斐塾6期生

聞き手：雨宮 誠（6期生）
松田公仁（14期生）

※写真右
※写真左

現在の基礎を作った研修期間

雨宮誠（以下、雨宮） 永井さんが夢甲斐塾に入ったきっかけについて教えて頂きたいのですが。

永井学（以下、永井） 夢甲斐塾に入塾させて頂いた時の私は31歳で、当時は旅行代理店に勤務していました。添乗員として日本各地を飛び回る中で、「山梨には素晴らしい自然や風景、ここに住む人の個々のポテンシャルがあるのに、なぜ外に活躍の場を求めていくのか?」という他県とのジレンマを抱えていて、「私がこの山梨を変えていきたい」と政治の世界に挑戦したいと考えていた時期でした。「政治を志すのであれば、夢甲斐塾で精神を鍛えたほうがいい」という先輩塾生のアドバイスを頂いたことも背中を押して頂きました。

雨宮 6期生はユニークなメンバーが多くたですが、研修期間で最も印象に残ったことは何ですか?

永井 入塾した早々、「研修テーマは自分自身で探しながら、様々なテーマで活動していくのかを夜遅くまでメンバーと一緒に話し合い、「山梨を知ること」また、「夢甲斐塾を山梨に発信」という2つの研修テーマを決め、活動を行いました。

その答えを自分たちで探すという活動方針があり、どんなテーマで活動していくのかを夜遅くまでメンバーと一緒に話し合い、「山梨を知ること」また、「夢甲斐塾を山梨に発信」という2つの研修テーマを決め、活動を行いました。

自分たちが住む山梨を活性化し、世に売り出していこうという勇氣とエネルギーを持つ、強いリーダーシップの若者を育てる」ことを目的に発足した夢甲斐塾。

「ガツツ山梨」をスローガンに、山梨県議会の舞台で活躍する永井学さんも、夢甲斐塾の6期生として活動したその一人。夢甲斐塾の中でどのような学びを得て、現在の活動にどのように活きているのかなど、当時の活動の様子を振り返りながらお話を聞かせて頂きました。



支えとなつた上甲先生からの言葉

雨宮 上甲晃先生からは色々な教えを頂きましたが、仲間と絆を深めることができたことは何にも代えがたい財産となりました。

永井 夢甲斐塾を出発した年に行われた県議会選挙に初めて挑戦し、敗れ、報告に伺った時に上甲先生から頂いた言葉は今の私の行動の軸になっています。それは「志を持つこと」そして「継続すること」。

選挙に敗れた後も、市民活動家として、現役議員と同じ活動をしたのですが、途中何度も挫折しそうになつたことがあります。しかし、「山梨を変える!」という自身の「志」を貫くことで、くじけてしまいそうな自分を奮い立たせることができました。今考えると、本氣になつて行動することで、周りの方々が応援してくれていたからだと思います。

子育て世代の方々のもとに出向き、子育てする上の問題点などをピアリングに伺いました。また、県の職員や関係各所にも自ら出向き、県が抱える課題などを伺い、自らも勉強を重ねました。また、2012年からは山梨の魅力を伝える活動「やまぼこ探検隊」を企画し、小さな子どもたちと一緒に県内を回つたり、体験をする活動を始めました。私もガツツ隊長として、年に1回のペースでイベントを企画し、子どもたちと一緒に山梨の魅力を再発見しています。これから日本は高齢化が進み、どんどん人口が減つていきます。山梨の魅力を小さな子どもたちに知つてもらひ、山梨に住むことに誇りを持てる県。働きやすい県にすることで、人口減少を緩和する活動を積極的に行っていきたいと思います。

研修方針も少し変わったと聞きますが、夢甲斐塾の基本精神は変わらないと思います。私は「志を持つこと」そして「継続すること」だと思います。私はたまたま政治の道を志すことになりましたが、人のために頑張りたい。何かで日本一になりたい。山梨をよくしたい。自分自身を変えたい等、入塾する理由は何でもいいと思います。研修を通じて、志を磨き、協力しあえる、また刺激を与える同志を得ることがいいと思っています。みんなで一緒に頑張って参りましょう。

※1 夢甲斐塾初代塾長。松下政経塾で副塾長を務め、多くの政治家を育てた。
※2 夢甲斐塾では研修終了を卒業とは言わず、これから自身のフィールドでの活動のスタートの意味として出発と表現しています。

松田公仁（以下、松田） 現在は県議3期目として、「子どもの育成」に力を入れていらっしゃるようですが。

永井 36歳の時、2度目のチャレンジで初当選させて頂いたのですが、翌年に生まれた我が一人息子の存在が「子どもの育成」に取り組むこととなる大きな転機となりました。我が子は予定日より3か月早い未熟児として誕生しました。積極的に子育てに関わる中で、同世代のお父さん、お母さんから意見を伺う機会も増え、未来の山梨を担う子どもたちを育てやすい環境づくりと子どもたちに山梨のいいところを伝える活動に力を入れていこうと活動を始めました。

松田 どんな活動を行つたのですか？

永井 まず、子育てしやすい環境づくりに関するでは、

雨宮 現役で研修中の夢甲斐塾生にエールをお願いします。

永井 2016年から塾長が白倉信司先生に代わり、



永井学氏プロフィール

1974年生まれの45歳。大学卒業後、地元ラジオ局のディレクター、衆議院議員秘書、旅行会社の添乗員を経て、2011年に山梨県議会議員に初当選。現在3期目。弓道初段の腕前で、学生時代には地区大会優勝の経験がある。

立志出杭

りっし しゅつこう

一隅を照らす
松下政経塾にて
一泊二日の研修を開催

白倉塾長挨拶／部会紹介

夢甲斐塾8月合宿例会レポート

夢甲斐塾広報誌

第6号

特集 出る杭人 永井学

山梨県議会議員 夢甲斐塾6期生



夢甲斐塾 各部会のご案内

歴史部会

正しい歴史教育を勉強するための場です

道徳部会

江戸時代に定着した道徳を勉強するための場です

生き方部会

人間の心を支える宗教を勉強するための場です

時事部会

テレビや新聞以外から見た時事問題を学びます

共学実践塾

本を読んで意見を交換するという形で学びます。

上記の会はすべて塾生以外でもご参加できます。
歴史部会、道徳部会、生き方部会、時事部会は参加無料です。
共学実践塾は有料/事前お申込みが必要です。



一泊二日の松下政経塾研修
8月合宿例会レポート



令和元年 8月31日(土)、翌
9月1日(日)の2日間、神奈川
県茅ヶ崎市の松下政経塾に
赴いて合宿例会を行うという
大きな企画に同行させていた
だいた。

バスをチャーターし、18期
生の望月博詞さんが運転。出発

時から「自修自得」の氣概だ。

私は行きのバスの中で「松下
幸之助トリビア」と銘打つて

翁についての予習講座を行った。

政経塾の日下部様からは心

からのおもてなしが溢れてい

た。生活全般のあらゆることを

研修と考える塾の本氣度を体感

した。講堂で一人ひとりが行つ

た「志発表会」も、参加者全員

にとつて一生に一つの宝となつたのではないだろうか。

この例会を企画準備してく

ださった18期の皆さん、中で

も発起人の山田亮一さんに心

から感謝申し上げたいと思つ

自己実現だけを
求むる勿れ

夢甲斐塾 塾長 白倉信司

ないかと心配です。

「今だけ、自分だけ、お金だけ」と云う
価値観ではなく、「過去に感謝して未来
を思い、自分のためだけではなく世の
ためのために活動し、お金よりも大切
なものを追求する」と云う価値観で生
きていく人を増やしていきたい。

そんなことを考えて学んでいるのが
夢甲斐塾です。

「日本の心を取り戻す」
ために、心の経営コンサルタントとして組織の経営
指導と人材育成に取り組んでいる他、易經及び
古事記の普及活動をしている。

夢甲斐塾 整長
しらくらしんじ
白倉信司

白倉事務所 代表
日本的心(古典)研究者

「日本の心を取り戻す」
ために、心の経営コンサルタントとして組織の経営
指導と人材育成に取り組んでいる他、易經及び
古事記の普及活動をしている。

お問い合わせ先
夢甲斐塾事務局
甲府市朝日2-16-19
コミュニティ広場「花水木」内
TEL 055-252-7687